

平成 年度

職員自己評価票（保育士）

氏名

前期 年 月 日記入

後期 年 月 日記入

○・・・達成

△・・・ほぼ達成

×・・・不十分

理念・子どもの発達援助		評価	
		前期	後期
保 育 理 念	法人の基本理念や園の保育方針の意味を理解し、そのように意識して行動出来ている		
	定期的に自己評価をして、保育の改善に努めている		
	園の全体的な計画（保育課程）を理解している		
養 護	子ども一人一人の発達状況と子どものおかれている事情を理解し、保育を行っている		
	子どもにわかりやすい言葉づかいで、穏やかにはなしをしている		
	制止やせかす言葉を不必要に使わず、一人一人に合わせた対応をしている		
	子どもの言葉にならない思いやサインなど心の動きを理解するよう努めている		
健 康	子どもの生活を24時間のサイクルでとらえ、一日の生活リズムが無理なく過ごせるように配慮している		
	食事・着脱・排泄などの基本的な生活習慣が身に付くようはたらきかけをしている		
	休憩時には安心して心地よい眠りにつけるよう関わりや環境に留意している		
	子どものアレルギーや病気についての確認・把握・対応を適切に行っている		
	手洗いやうがい・鼻かみ等の清潔習慣が身に付くよう働きかけている		
食 事	子どもが残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない		
	子どもが育てた野菜などを料理して食べる経験を取り入れている		
	子どもが配膳や片づけなどに参加できるようにしている		
	子どもが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫している。☆（具体的に記入） ☆		

		前期	後期
人間関係	異年齢の子どもの交流が楽しめるよう工夫・意識している		
	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように配慮している		
	子ども同士がつながりを深めるための保育をしている		
	順番を守ることや集団の中での約束ごとが理解できるように配慮している		
環境	様々な経験が出来るよう、遊び・保育の提供をしている		
	自然・動植物にふれる機会をつくり自ら発見や学びができる環境づくりに心掛けている		
	物の使い方や遊具・玩具等の遊び方などの約束事を丁寧に伝えている		
言葉	挨拶を手本となるように行い、大切さが伝わるような関わりをしている		
	正しく、丁寧な言葉づかいや声の大きさに配慮して子どもに話しかけている		
	子どもが自分の思いや意見を話せるような関わりや保育を工夫している		
	話を聞く力が育つような関わりや保育を工夫している		
表現	自然の素材に触れ楽しめる機会を多く取り入れた保育をしている		
	自由に様々な表現を楽しめる環境づくりを工夫している		
	子どもが自分のイメージを様々なかたちで表現したり作る等が楽しめる機会を設けている		
	子どもの作品を大切に扱い自信がもてるような配慮をしている		
乳児保育	授乳やおむつ交換の際は、安心出来る様な声掛け・スキンシップを心掛けている		
	一人一人の発達や生活リズムを把握し必要な援助が出来ている		
	しぐさや声での欲求サインを見逃さず対応できている		
延長	子どもの状況について職員間の引き継ぎを適切に行っている		
	一人一人の子どもの保育時間を考慮し必要に応じた配慮をしている		
障害児保育	障害のある子の環境を整え保育内容に配慮をしている		
	障害児保育に関する研修や定期的に話し合う機会を設けている		
	医療機関や地域の専門機関を知っている		
	障害のある子（特に配慮を必要とする子）、ない子が互いに認め合い成長できるよう仲立ちとなっている		

保護者に対する支援		前期	後期
喜びの共有	保護者の子育てパートナーとして、不安や悩みを受け止め助言・援助している		
	送迎時など保護者と積極的にコミュニケーションをとるように心掛けている		
	保護者が子どもの成長の喜びを感じられるよう心掛けていることがある☆（具体的記入） ☆		
	子どもの育ちの過程を伝え合い、共通理解に努めている		
応答	体調不良や送迎変更など保護者と連絡のやり取りの際は、細やかな配慮に心掛けている		
	個々の家庭における養育方針を理解し、対応している		
地域	地域と良好な関係が築けるよう挨拶をしたり、機会があれば地域の保護者が気軽に保育園を利用できることを知らせている		
	子育て支援の為の交流を自身でも意識し積極的に取り組んでいる		
関係機関	虐待を疑われる子どもの情報を得たとき関係機関に照会、通告を行う義務があることを知っている		
	苦情解決の仕組みを知っている		

保育を支える組織基盤		前期	後期
健康及び安全	子どもの日々の健康状態を把握し、保育している		
	子どもの与薬を依頼されたとき、園の対応マニュアルを理解して対応している		
	保育室の換気や温度・湿度に配慮して保育している		
	不審者への対応や災害時の適した行動を理解し出来ている		
	個人情報の管理を適切に行っている		
	子どもへの安全教育をどのように行っているか。 ☆（具体的に記入） ☆		

		前期	後期
自己評価	保育課程や保育計画のねらい・内容を保護者にわかるように伝えることができる。		
	自分の保育実践について同僚や園長と話ができている		
	保育計画が適切であったか、振り返りを行い改善している		
資質向上	常に新しい保育の情報を学び、知識や技術の向上に努めている		
	職員会議などで保育の質の向上につながる発言をしている		
	園の内外における研修・研究活動に目的をもって積極的に参加している		
職員の連携	保護者からの相談内容などを自身のみで解決しないで、園長や他の職員と共有して解決している		
	子どもの体調不良や怪我などの情報を職員間で共有している		
	他の職員の状況や役割を理解し、協力や援助をしている		